

教育委員会 9 月定例会会議録

1 会議の名称 中之条町教育委員会 9月定例会

2 会議の期日 令和5年9月22日(金)

3 会議の場所 中之条町ツインプラザ 大会議室

4 会議に出席した委員・教育長

教育長	山口 暁夫
委員(教育長職務代理者)	高橋 久夫
委員	山口 貴美子
委員	湯本 茂夫
委員	石田 優子

5 会議に出席した職員

こども未来課長	山本 伸一
生涯学習課長	須崎 幸夫
次長兼教育指導係長	田島 雄二
総務係長	外丸 綾子

6 議 題

議案第1号 第59回吾妻警察署長杯ソフトテニス大会の後援について
議案第2号 令和5年度地域と学校の連携・協働推進フォーラムの共催について

7 協議事項

(1) 部活動の地域移行について
(2) その他

8 その他

(1) 全国学力・学習状況調査の結果について
(2) 9月定例町議会について
(3) 問題行動及び適応指導教室「虹」、日本語サポート教室「未来」の状況について
(4) その他

9 事務連絡

10月定例会 10月2日(月) 午前9時30分から 中之条町役場 2階 第2会議室

10 開会

午前9時30分、教育長、教育委員会会議の開会を宣す。

教育長より開会の挨拶

11 会議録署名委員の指名

こども未来課長が今回の会議の会議録署名委員に、山口委員を指名

12 会期の決定

会期の決定 本日一日限り

13 会議録の承認

8月定例会会議録について、全員異議なく承認

14 報告事項

(1) 教育長等執務報告

- ・教育長より、令和5年8月25日から10月2日までの行事等について報告

(吾妻広域町村圏振興整備組合理事会、同議会定例会、町文化協会会員研修発表会、管内校園所長会議、町戦没者追悼式、中之条小学校計画訪問、町議会定例会、中之条ビエンナーレ・レセプション、赤岩ふれあい感謝祭、文教民生常任委員会、吾妻地区福祉パレード、中之条幼稚園計画訪問、定例教育委員会、郡民スポーツ大会バスケット競技、秋の交通安全運動広報、中之条中学校アウトメディア公開授業、町健康づくり推進協議会、健康づくりゲートボール大会、郡教育長会議、次回定例教育委員会など)

(2) 教育長諸報告

- ・町民プールにおける児童の転落事故について
- ・管内中学生の通学中の交通事故について
- ・児童への不審な声かけ事案について

15 会議における議事の経過及び発言趣旨

議案第1号 第59回吾妻警察署長杯ソフトテニス大会の後援について

生涯学習課長、議案資料について説明

- ・10月1日(日)、中之条中学校テニスコートで開催される中学生対象の大会である。
- ・毎年、大会開催時には後援の依頼があり、承認している。

異議なく資料のとおり承認

議案第2号 令和5年度地域と学校の連携・協働推進フォーラムの共催について

生涯学習課長、議案資料について説明

- ・10月12日（木）、バイテック文化ホールで開催する。
- ・群馬県教育委員会が主催し、郡内町村の持ち回りで毎年開催している。開催地の町村教育委員会に名義共催を申請している。

異議なく資料のとおり承認

16 協議事項

(1) 部活動の地域移行について

こども未来課長、資料について説明

- ・8月1日から25日かけて、管内中学校の教職員を対象に「部活動の在り方に関する教職員アンケート」を実施し、24名から回答を得たので、その結果を報告する。

○アンケート結果の概要

*問2の「中学校部活動の意義」を問う設問では、

- ・スポーツマンシップや団体行動が身につく（14.9%）
- ・体力や音楽、芸術等の技術を維持・向上できる（13.2%）
- ・厳しい練習・稽古を通して精神的にも強くなる（13.2%）の回答が上位となった。

*問3「部活動の問題点について」では、

- ・教員が希望以外の部活動を持っている（19.4%）
- ・専門的技術指導ができる教員が不足している（16.3%）
- ・教員の負担が増大している（16.3%）の回答が多く全体の52%を占めた。

*問4「関わっている部活動が、自身の専門種目であるか」を問う設問では、

- ・専門である（21%）
- ・専門ではないが、活用経験又は指導経験がある（33%）
- ・専門ではなく、活動経験又は指導経験もない（33%）
- ・部活動に関わっていない（13%）であった。

*問5「部活動指導をどのように感じているか」では、

- ・やりがいがある（21%）
- ・どちらかというやりがいがある（38%）の2つの回答が半数以上を占めたが、
- ・どちらともいえない（29%）
- ・どちらかというやりがいは感じない（8%）
- ・やりがいは感じない（4%）の3つの回答を合わせると41%であった。

*問6「部活動の指導をする中で、どのようなことを負担に感じるか」では、

- ・休日の部活動の指導や大会の引率をすること（21.6%）

- ・ 経験をしたことのないスポーツ・文化活動を指導すること (21.6%)
- ・ 勤務時間を超えて部活動があるので帰宅時間が遅くなること (20.3%) の回答が上位となった。

*問7「部活動の指導上の悩みは何か」では

- ・ 自分の専門的指導力の不足 (24.3%) が最も多く、
- ・ 自分の家族との時間がなくなる (13.5%)
- ・ 競技志向の生徒と楽しみ志向の生徒の共存 (10.8%) の回答が上位となった。

*問8「学校外での試合や遠征に年間で費やしている休日はどのくらいあるか」では、

- ・ 0日 (20.8%)
- ・ 1～5日 (12.5%)
- ・ 6～10日 (20.8%)
- ・ 11～20日 (16.7%)
- ・ 21～30日 (12.5%)
- ・ 31日以上 (16.7%) となり、多くの部活動で休日に試合や遠征が行われている。

*問9「教職員の働き方改革を進めるうえで、現在の部活動の在り方を変える必要があると思うか」の設問では、

- ・ とてもそう思う (46%)
- ・ まあそう思う (42%) の2つの回答が大半を占め、
- ・ あまりそう思わない (12%) は少なく、
- ・ 全くそう思わない (0%) の回答は無かった。

*問10「学校部活動の今後のあり方に関して」では、

- ・ 外部指導者を積極的に活用していく (27.4%)
- ・ 部活動指導員を積極的に活用していく (25.8%)
- ・ 休日の部活動を地域スポーツクラブ等に移行(地域移行)する方向がよい (17.7%) の回答が上位となった。

*問11「学校部活動における外部指導者の活用は必要か」では、

- ・ 必要である (54%)
- ・ どちらともいえない (42%)
- ・ 必要ない (4%) となった。

*問12「部活動指導員制度を導入する場合、部活動指導員の部活動への関わりについて良いと思われることは何か」の設問では、

- ・ 顧問は教員が主となり休日の部活動の指導・引率は任せる (4%)
- ・ 顧問は教員が主となり教員が指導・引率できない場合のみ任せる (25%)
- ・ 教員とともに顧問となり一緒に部活動の指導・引率を行ってもらう (29%)
- ・ 部活動の全てを任せ教員は担当として協力する (42%) となった。

*問13「休日の部活動が地域スポーツクラブ等に移行(地域移行)された場合、あなたの指導への関わりについてどのように考えるか」では、

- ・指導に関わりたい（13%）
- ・関わりたくない（43%）
- ・悩んでいる・分からない（44%）となった。

（山口委員）

- ・地域移行は、地域に受皿が無く、送迎等で保護者の負担が増えてしまうことも考えられる。教員の兼職兼業の制度を活用するなどしてよい方向を見出したい。
- ・部活動を学校から切り離す場合には、部活動を通して築かれていた教員と生徒・保護者とのコミュニケーションを今後どのように補っていくかも議論が必要かと思う。

（石田委員）

- ・多くの教員が部活動の意義ややりがいを感じながらも、負担や悩みを抱えていることがわかる。教員の働き方改革や負担軽減を最優先とするならば、何らかの方向性を見出し進めていかなくてはと思う。

（高橋教育長職務代理者）

- ・アンケート結果では、教員が部活動の意義を前向きに捉えていることが伺える。しかし、部活動を考える時、アスリート育成にのみ重点が置かれてしまい、「どこの中学校に行きたい」という地域差が生じるのではないかと危惧している。生徒がやりたいことを選んで3年間しっかりと取り組めることを考えたい。

（教育長）

- ・部活動の経験は子どもたちの成長に重要である。部活動が学習指導要領で学校教育の一つとして位置付けられている限り、学校から切り離すのは難しいかと感じている。今後、学校規模が縮小すれば、実施できない部活も出てくる。しかし、地域移行すると保護者への負担、スクールバス等の諸課題も浮上する。

（こども未来課長）

- ・第2回部活動の地域移行に関する郡内所管課長会議について情報提供

（湯本委員）

- ・郡全体で考えるにはエリアが広すぎてスクールバスなどの課題も多いと感じる。アンケート結果では、地域移行した場合には自分に関わりたくないという教員が半数近くいたことを考えると、部活動を完全に学校から切り離した時に、果たして中学生の部活動が存続できるのか疑問が残る。中学生の部活動は、教員の指導があってこそ成り立っていると思うので、そこを無くしてしまうのは難しいと思う。

協議の結果、引き続き検討を継続する。

（2）その他

こども未来課長より報告

- ・六合中学校の在り方について進捗状況を報告

○午前 10 時 25 分：休憩

○午前 10 時 35 分：再開

17 その他

(1) 全国学力・学習状況調査の結果について

次長兼教育指導係長、資料について説明

- ・小学校では国語と算数、中学校では国語・数学・英語で調査を実施した。全国の平均正答率を 100 として中之条町の正答率を示している。
- ・中学校では全国平均を少し上回っているが、小学校では全国平均を下回っている。
- ・算数・数学は、小中学校に共通して苦手意識を持つ傾向がある。
- ・英語は、前回に比べて伸びており、全国平均を上回っている。
- ・各学校で学力向上に向けて、授業の改善や学級の改善に取り組んでいる。

(2) 9 月定例町議会について

一般質問、文教民生常任委員会での各議員の質問と答弁の内容について報告

・こども未来課長より報告

(スクールバスの運行について、小中学校における生理用品のトイレへの配置について、学校におけるウイルス対策ソフト導入事業の進捗について、水泳授業における外部講師の導入について、部活動の地域移行について)

・生涯学習課長より報告

(スポーツ振興施策について、公民館に求められる機能について、山田城址^{じょうし}測量業務委託について、大学生等生活支援給付金について、文化会館の舞台吊物滑車類整備改修・施設の利用状況・催事について、コロナ下での社会教育施設利用者への影響について、体育施設における熱中症対策について、学校及び体育施設のトイレ洋式化について、アウトメディアについて、博物館「ミュゼ」運営委員会での提案意見の活用について、博物館「ミュゼ」の忍者資料について、)

・常任委員会への連絡

こども未来課長より、六合中学校の在り方について報告

生涯学習課長より、まちなか5時間リレーマラソンの実施について報告

(3) 問題行動及び適応指導教室「虹」、日本語サポート教室「未来」の状況について

次長兼教育指導係長、資料について説明。8月の実績が報告された。

(4) その他

①生涯学習課長より事業について報告

- ・博物館「ミュゼ」企画展、「幕臣小栗上野介が描いた近代国家」(9月1日～10月9日開催)

②山口委員より、中之条小学校給食センター調理室へのエアコンの導入について改善提案

(山口委員)

記録的な猛暑が続く中、給食の食品衛生上の観点からエアコンの導入を検討できないか。

(こども未来課長)

今年度は東部給食センターの調理室に3基必要とされているエアコンのうち、1基分の予算を確保することができ設置した。今後中之条小学校へも順次導入を計画している。給食センター内は、虫やほこりが入らないよう窓が開けられず非常に高温になっているため、引き続き予算要求をしてまいりたい。

18 事務連絡

10月定例会 10月2日(月) 午前9時30分から 中之条町役場 2階 第2会議室

19 閉会の宣言

午前11時10分、教育長、教育委員会会議の閉会を宣す。

20 議決事項

議案第1号 第59回吾妻警察署長杯ソフトテニス大会の後援について

議案第2号 令和5年度地域と学校の連携・協働推進フォーラムの共催について

(承認)